

# 第4次聖籠町総合計画について

---

## 基本構想編

計画期間	2011年～2020年（10年間）
基本理念	「緑・ふれあい・夢づくり」 ～協働による町民自治の実現～
将来像	「安全で快適な生活環境の創造」 「安心できる暮らしの実現」 「学校・家庭・地域の連携による教育力の向上」 「地域資源を活かした魅力ある産業の形成 開かれた行財政の推進」

## 緑・ふれあい・夢づくり ～協働による町民自治の実現～

### 安全で快適な生活環境の創造

地域特性を活かしたまちづくり

自然環境との共生

生活環境の整備

### 安心できる暮らしの実現

安全に暮らせる環境づくり

安心して暮らせる福祉のまちづくり

生涯健康に暮らせるまちづくり

### 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

いきいきと学ぶ子どもたちの教育

豊かな感性の醸成

豊かな国際感覚の醸成

### 地域資源を活かした魅力ある産業の形成

町の資源をフル活用したいきいき農業

活力と魅力ある漁業

自然環境を活かした観光

未来を支える商工業

### 開かれた行財政の推進

ともに考え責任を分かち合う意識づくり

地域主権型社会に対応した体制づくり

将来展望に立った健全な行財政の運営

緑・ふれあい・夢づくり ～協働による町民自治の実現～

基本理念	緑・ふれあい・夢づくり ～協働による町民自治の実現～																									
将来像	安全で快適な生活環境の創造				安心できる暮らしの実現				学校・家庭・地域の連携による教育力の向上			地域資源を活かした魅力ある産業の形成			開かれた行財政の推進											
施策の大綱	地域特性を活かしたまちづくり		自然環境との共生		生活環境の整備				安全に暮らせる環境づくり		安心して暮らせる福祉のまちづくり		生涯健康に暮らせるまちづくり			いきいきと学ぶ子どもたちの教育	豊かな感性の醸成	豊かな国際感覚の醸成	町の資源をフル活用したいいきいき農業	活力と魅力ある漁業	自然環境を活かした観光	未来を支える商工業	ともに考え責任を分かち合う意識づくり		地域主権型社会に対応した体制づくり	将来展望に立った健全な行財政の運営
施策の方向	都市近郊型の土地利用		人口減少対策の推進		環境保全対策の充実				交通安全対策の充実		高齢者福祉の充実		国民健康保険事業の充実			幼児期における教育の充実	生涯学習の展開	文化の推進	資源のかん養と保全に向けた取り組みの強化	安定して続けられる漁業の促進	観光資源の保全と施設の整備	地域内他産業との協働	町民参画の推進		分権型社会への対応	効率的・効果的な行財政の運営

**緑・ふれあい・夢づくり ～協働による町民自治の実現～**

キーワード	趣 旨
環境・自然	<p>緑・自然の活用と保全を図り、自然と人との共生・調和をめざし、環境・自然とともに人にやさしく、誰もが、安全で安心して快適に暮らすことのできるまちづくりを推進します。</p>
共生・連携	<p>町民の多様なニーズに適切に対応するとともに、町民が心豊かに生活することができ、自分のまちとして自信と誇りを抱き、次世代へと引き継ぐまちづくりを推進します。</p>
地域主権	<p>町民が、お互いにふれあい、尊重し、支えあいながら、ともにいきいきと生きることができ るまちづくりを推進します。 また、町民はじめ各種団体、機関などと町とが心と力をあわせ、信頼関係を築きながら連携 したまちづくりを推進します。</p>
豊かさ	<p>活力に満ちた地域社会を実現するため、自らの地域のことは自らで決定する地域主権型社会 のまちづくりを構築し推進します。 また、本町ならではの資源・特性を活かし、自立した町として、個性が輝くまちづくりを推 進します。</p>

## 1 安全で快適な生活環境の創造

失われつつある緑の資源や自然環境を保全するとともに、歴史、文化、産業などの地域資源の特性を活かしたまちづくりを進めます。

また、災害に強い防災まちづくりの構築、交通アクセスの整備、資源の再利用を図るなどにより、町民一人ひとりが豊かに暮らせる町をめざします。

## 2 安心できる暮らしの実現

いつ起こるかわからない自然災害に備えて、町民に対し防災思想の普及を図り、防災体制の整備を推進するとともに、交通安全対策・防犯対策の整備を推進します。

また、安心して子どもを産み育てられる環境や、高齢者、障がい者にやさしい環境などの整備により、誰もが生涯健康な暮らしをおくれる町をめざします。

## 3 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

個々の学校の基本的な問題解決には、「学校・家庭・地域」が連携して子どもを育てる視点に立ち戻って、教育力の再生・向上をめざして取り組みます。

また、本町は、これらの教育力を再生・向上させるために、「学校・家庭・地域」という総合的な視点による取り組みを本町の教育施策の中核に位置づけて、縦割り組織を越えて横断的に連携を強めます。

## 4 地域資源を活かした魅力ある産業の形成

自然環境、歴史と文化、地域資源などを見直し、その潜在能力を最大限に引き出し、自然、環境と共生する農業・漁業の活性化を図るとともに、すばらしい自然環境を活用して、笑顔があふれる観光産業を実現します。

また、新潟東港工業地帯の発展や既存商工業のさらなる発展と持続に向けて支援します。

## 5 開かれた行財政の推進

地域主権型社会のまちづくりに向けて積極的な情報公開と町民参画の仕組みを構築し、互いの役割分担を明確にするとともに、市町村間の連携強化を図りながら、効率的な行政運営を展開します。

また、将来展望に立った財政運営を確立する町をめざします。

## 1 安全で快適な生活環境の創造

失われつつある緑の資源や自然環境を保全するとともに、歴史、文化、産業などの地域資源の特性を活かしたまちづくりを進めます。

また、災害に強い防災まちづくりの構築、交通アクセスの整備、資源の再利用を図るなどにより、町民一人ひとりが豊かに暮らせる町をめざします。

### I 地域特性を活かしたまちづくり

- ・適正な土地利用・開発による秩序あるまちづくりの推進
- ・災害に強いまちづくり
- ・集落景観の保全と調和のとれた土地利用の実現
- ・町内各地区の特性を活かしたまちづくりを推進

### II 自然環境との共生

- ・海岸線の護岸整備を促進、海洋スポーツ等の環境整備
- ・河川堤防の安全対策と水と親しめる空間整備の促進
- ・松林などの緑の保護と育成
- ・回遊できる健康増進型の歩行者空間の構築
- ・農地や樹木などの保全と緑と花の推進

### III 生活環境の整備

- ・広域アクセスを考慮した計画的な道路整備
- ・歩行者の安全性、快適性に配慮した道路管理と冬期間の交通確保
- ・交通アクセス・周辺整備、公共輸送機関び路線の充実の要請
- ・廃棄物のリサイクル推進、適正処理の啓発、体制整備
- ・温室効果ガス排出抑制などの取り組み
- ・上水道の安定供給と経営の健全化
- ・下水道事業の計画的な事業運営と経営の健全化

## 2 安心できる暮らしの実現

いつ起こるかわからない自然災害に備えて、町民に対し防災思想の普及を図り、防災体制の整備を推進するとともに、交通安全対策・防犯対策の整備を推進します。

また、安心して子どもを産み育てられる環境や、高齢者、障がい者にやさしい環境などの整備により、誰もが生涯健康な暮らしをおくれる町をめざします。

### I 安全に暮らせる環境づくり

- ・ 聖籠町防災計画・災害ハザードマップ整備、防災組織活性化
- ・ 交通安全思想の普及と道路交通環境の整備・修繕
- ・ 関係団体と連携した犯罪防止
- ・ 消費生活相談や消費者教育の充実

### II 安心して暮らせる福祉のまちづくり

- ・ 多様な保育ニーズに対応した子育て支援システムの構築
- ・ 障がい者の自立・社会参加支援と施設整備の推進
- ・ 高齢者の地域社会への参加支援と自立のための基盤整備
- ・ 地域住民の自主的活動の組織づくりの支援
- ・ 世代間コミュニケーションの取り組みの推進

### III 生涯健康に暮らせるまちづくり

- ・ ライフステージに応じた施策の推進
- ・ 地域や関係団体と連携強化
- ・ 診療所の施設整備・充実
- ・ 地域疾病構造に着目した保健予防活動を強化・充実
- ・ 情報共有や連携した対応のためのP D C Aサイクルの構築
- ・ 感染症の感染拡大の抑制ための体制整備
- ・ 自殺予防対策を関係機関と連携し推進

### 3 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

個々の学校の基本的な問題解決には、「学校・家庭・地域」が連携して子どもを育てる視点に立ち戻って、教育力の再生・向上をめざして取り組みます。

また、本町は、これらの教育力を再生・向上させるために、「学校・家庭・地域」という総合的な視点による取り組みを本町の教育施策の中核に位置づけて、縦割り組織を越えて横断的に連携を強めます。

#### I いきいきと学ぶ子どもたちの教育

- ・学校・家庭・地域の連携による教育力の再生・向上
- ・町民参画による学校支援活動の充実
- ・幼・小・中の教育の「12年カリキュラム構想」の充実
- ・家庭学習の習慣化、生活習慣の改善などによる基礎学力の定着
- ・学校・家庭・地域との連携による学校運営協議会を中心とした学校運営
- ・中学校の教科センター方式の成果と課題を総括し、必要に応じて改善
- ・情報教育や地域交流センター活動の一層の充実。
- ・スポーツ・文化・芸術などで学校・家庭・地域の連携
- ・育英資金貸与事業の周知による奨学支援体制の充実

#### II 豊かな感性の醸成

- ・学校・家庭・地域の連携を強化した生涯学習推進計画の策定
- ・独立図書館の建設推進、デジタル化などによる情報センターとしての機能の充実
- ・青少年交流センターの活性化と学校・家庭・地域の連携による青少年健全育成体制の確立
- ・文化財の保護、文化会館事業などによる文化・芸術活動の支援

#### III 豊かな国際感覚の醸成

- ・異なる文化との交流を図り、生活に根づいた国際交流活動の推進
- ・ホームステイを受け入れる意識・体制づくり



## 4 地域資源を活かした魅力ある産業の形成

自然環境、歴史と文化、地域資源などを見直し、その潜在能力を最大限に引き出し、自然、環境と共生する農業・漁業の活性化を図るとともに、すばらしい自然環境を活用して、笑顔があふれる観光産業を実現します。また、新潟東港工業地帯の発展や既存商工業のさらなる発展と持続に向けて支援します。

### I 町の資源をフル活用したいいきいき農業

- ・生産技術の向上や高付加価値品のブランド化の促進
- ・遊休地対策・生産基盤の強化
- ・新規就農者の促進と後継者対策
- ・水田地力の回復のため土壌改良対策
- ・耕作放棄地の実態の把握と、解消に向けた組織的な対応
- ・農産物加工センターでの加工商品の開発
- ・農産物の販売方法の工夫や特産物の開発
- ・安定した農業経営の実現及び新規担い手の育成
- ・地産地消を推進と総合的な食育の実施。
- ・農業基本条例を定め、持続可能な町農業の振興

### II 活力と魅力ある漁業

- ・コスト軽減や漁業資源づくりなどによる安定収入の確保
- ・自然環境を配慮した海浜、海岸整備の推進

### III 自然環境を活かした観光

- ・観光地の駐車場、案内板等の整備
- ・広域観光ルートの新開発や魅力的な自然環境の整備・創出

### IV 未来を支える商工業

- ・経営基盤の強化や多様な消費者ニーズに対応できる経営体構築のための支援体制強化
- ・新潟東港の活性化のため、企業誘致活動及び未操業地の解消に向けた活動の促進
- ・町内商業者の組織的運営ができる場の検討と他産業との協働への可能性を模索

## 5 開かれた行財政の推進

地域主権型社会のまちづくりに向けて積極的な情報公開と町民参画の仕組みを構築し、互いの役割分担を明確にするとともに、市町村間の連携強化を図りながら、効率的な行政運営を展開します。  
また、将来展望に立った財政運営を確立する町をめざします。

### I ともに考え責任を分かち合う意識づくり

- ・ 町政をともに考え、ともに責任を分かち合うため、町民参画を推進
- ・ 行政の透明性向上ため、積極的な情報公開や情報の提供
- ・ 男女共同参画社会の創造

### II 地域主権型社会に対応した体制づくり

- ・ 町民との協働のもと、地域の実情に応じたまちづくり
- ・ 地域主権型社会に関する情報を積極的な発信
- ・ 近隣市町村との連携強化によるまちづくりの推進

### III 将来展望に立った健全な行財政の運営

- ・ 行財政改革を推進し、健全な行財政を堅持するため、事務事業評価システムの構築
- ・ 職員の意識改革と資質向上に努め、町民参画により政策決定される組織体制の確立
- ・ 行政と町民との協力関係の確立に努め、政策を実施。
- ・ 電子自治体の推進に向けた体制の整備